

特別号



UMEX 夢っくす ニュース

# 夢っくす かわらばん

## 魚沼とつなみ被災地をつなごう つなぎ手は国際大学留学生！



TUSO会長の久保田さん（中央）と  
出演者の皆さん！

夢っくす（うおぬま国際交流協会）は、国際大学で学ぶ留学生との交流を通じて地域の国際化や多文化共生社会へ向けた魅力ある地域づくりを目指して2002年5月に発足した団体です。

昨年10月23日、私たちは思いもかけなかった中越大地震を体験しました。その時、被災者の人々が手を取り合い、助け合い、乗り越えて行く姿がメディアに取り上げられました。こうした助け合いの精神は、深々と降り積もる雪の中、厳しい自然の中で生きて行く術として、この地に遠い昔から脈々と受け継がれてきた私たちの良き伝統であるように思います。

そして12月26日、今度は遠いスマトラ沖で発生した大地震と津波が何十万人もの人々の命と生活のすべてを破壊していくさまをメディアを通じて目の当たりにすることになりました。

一人の学生が発した「津波被害について夢っくす会員に知らせてほしい」が発端となり、2月5日に「留学生から被災地の状況を聞く会」を開催しました。その会に集まった人々と立ち上げたのが「スマトラ沖津波被災地と魚沼をつなぐ会」（通称TUSOトッソー）です。その活動の第一歩として、3月6日に「つなみ被災者救援コンサート」を開催しました。

そして今回、南魚沼市をはじめ多くの団体、個人の方々の協力により第2回コンサートが実現しました。TUSOに集うタイとスリランカからの留学生が春休みを利用して現地で実施した救援活動についてご報告しますが、限られた時間で十分なお報告ができないと思います。詳細は夢っくすホームページをご覧ください。

夢っくすホームページ  
(<http://www.umex.ne.jp/>)

## 励ましたり、励まされたい・・・ 2月18日山古志村長に義援金を届ける

昨年12月、夢っくすと中国人学生と一緒に開催した「中国文化講座」で集めた中越地震の募金6万5千円を留学生と一緒に山古志村長に届けました。夢っくすでは毎年6月の修了式前に「魚沼ツアー」を行っており、山古志の牛の角突きを観戦するのが恒例になっています。

義援金の使途を学生たちと打合せた結果、夢っくすと関連のある山古志村で使っていただくということになりました。

励ましたり、励まされたり、痛みや悲しみや喜びを共感しあえる人の輪がこうした活動を通じて世界中に広がっていくことを願っています。



### 入会案内

夢っくす  
(うおぬま国際交流協会)

「できるヒトが、できるコトを、できるトキに」をモットーに、さまざまな交流イベントや日本語会話パートナープログラム、会員向け英語プログラムなどを提供しています。年会費は個人会員3千円、家族会員（個人会員の家族）1500円、法人及び団体会員は1口1万円以上任意の口数となっています。下記の郵便局口座に会費をお振込みくださるか、夢っくすサロンが開いているときにお越しください。（場所と時間帯は裏面に掲載）

- 口座番号：00550-7-74672
- 口座名称：うおぬま国際交流協会

\*この口座では「つなみ被災者救援募金」も受け付けていますので、振込用紙の通信欄に「会費」とご記入ください。

TUSO  
(スマトラ沖つなみ被災地と魚沼をつなぐ会)

留学生と一緒につなみ被災地と魚沼をつなぎ、被災地の復興、とりわけ子供たちへの教育支援を活動の中心にしています。TUSOの趣旨にご賛同いただける方は、お帰りの際に受付にいる担当者にお名前と連絡先をお届けください。

# つなみ被災地の子供たちへ届けよう うおぬまの心



スワニー・マリワン (小学6年)



メイサ・セナサナ (小学3年)



ユタナ・シュシュエン (小学6年)



ウィスト・ソマブッタラ (小学6年生)



ナムティップ・チャンムアン (小学6年生)

## タイ・プロジェクト： TUSO奨学生5人を決定！

タイグループでは、現地で教員をしている知人を通じて、つなみにより保護者を亡くし就学の継続が危ぶまれている子供たちに奨学金を支給することに決めました。100人以上のリストをもらいどのように選考したら良いかがもっとも難しい問題でした。現地の協力者と相談し左の5名の子供たちをTUSO奨学生に決定しました。

一人の子供が1ヶ月学校に通うためには3千円かかり5人分1年間で18万円必要です。TUSOの第一次募金活動で6万5千確保しました。今回のコンサート等を通じて夏までに目標額に達することを期待しています。

また、タイの2名の学生は、「留学生の一時帰国支援」事業に応募し、春休みに帰国して最も被害の大きかったプーケット島で復興資金を集めるための「つなみTシャツ」の販売や、テーブルや椅子など壊れた家具を補修し、被災者に届ける活動に参加してきました。

## スリランカ・プロジェクト： 子供たちの笑顔を取り戻そう！

スリランカグループでは、春休みに学生の一人が帰国し、スリランカで最も被害の大きかった南部地域にあるマタラ幼稚園を訪問し、TUSOから託された義援金13万円で次の品物を購入し子供たちにプレゼントしてきました。

園児用テーブル20、椅子40脚、教師用机と椅子2セット、金属製戸棚2、大型の本箱1、教育用玩具と書籍。これらを現地で購入することによって、日本で物資を調達し輸送する場合に比べてはるかに義援金を有効に使うことができました。「絵本やおもちゃを手にした子供たちの嬉しそうな笑顔が忘れられません。」

私たちの力は決して大きくはありませんが、関係者の知恵と学生たちのネットワークを使って、被災した子供たちの笑顔を取り戻すためのプロジェクトを考えて行きたいと思えます。



TUSOからプレゼントされた絵本やおもちゃで遊ぶタマラ幼稚園の子供たち



## インドネシアとインドのグループは 夏休みに救援活動を計画

春休み期間が短かったため、現地の具体的な救援活動を行う体制を取れなかったインドネシアとインドのグループは夏休みに救援活動を予定しています。

### 4月23日コンサートのTUSOからの出演者をご紹介します

- ダヌラさんによる被災地の最新情報と春休みの救援活動の報告
- オラヌートさんによる今後の支援計画の発表
- アディティさんによるインドの古典舞踊
- メイディさん、マスタさんによるバリ島に伝わる歓迎の踊り
- I U Jバンド・スイートホームによる演奏

## つなみ被災者 救援募金の報告

2月5日に開始した募金は、第1期として定めた3月20日までに26万円に達しました。

これまでの支出は、春休みに救援活動を行ったスリランカのプロジェクトに13万円支給し、また、タイのグループから推薦のあった小学生5名に1年分の奨学金として一人あたり3万6千円支給することを決定しています。

夏休みに実施する救援活動と寄付金の配分は、国際大学が夏休みに入る6月下旬にTUSO会議において決定します。結果は夢っくすホームページでご報告いたします。引き続き皆様のご支援をお願い致します。

### 夢っくす(うおぬま国際交流協会) 連絡先

〒949-7277 新潟県南魚沼市国際町777番地  
国際大学第3学生寮内 夢っくすサロン  
TEL:025-779-1520/1439 FAX:025-779-1180  
E-Mail: office@umex.ne.jp URL: http://www.umex.ne.jp/  
\*夢っくすサロンは火曜・金曜の午後1時~3時と7時~8時半に開設しています。

